

証券コード6859

**エスペック株式会社**  
**2021年度(2022年3月期)**  
**第2四半期決算説明**

2021年11月25日

代表取締役社長 石田 雅昭

# 2021年度第2四半期 決算概要

世界経済の回復基調が継続し受注高は大幅に増加したが  
前年同期比で売上高は電子部品不足で微増、営業利益は販管費の増加で減少

	前年同期比	予想比(2021年5月発表)
■ 受注高	○ 装置事業(主に環境試験器)が大幅に増加	○ 装置事業(主に環境試験器)が大幅に増加
■ 売上高	○ 装置事業(主に環境試験器)とサービス事業が増加	× 装置事業とその他事業が下回る
■ 営業利益	× 販管費の増加により減少	× 売上高の未達と調達コストの増加、販管費の増加により下回る
■ 経常利益 四半期純利益※	× 営業利益の減少により減少	× 営業利益の減少により下回る

※親会社株主に帰属する四半期純利益

# 損益の状況

(百万円)

	2020年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計予想 (5月公表)	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	16,957	20,000	26,569	56.7%	32.8%
売上高	17,294	18,500	17,568	1.6%	△5.0%
売上原価 (原価率)	11,502 (66.5%)	12,000 (64.9%)	11,686 (66.5%)	1.6% (変化なし)	△2.6% (1.6pt悪化)
売上総利益	5,792	6,500	5,881	1.5%	△9.5%
販管費	5,058	5,301	5,485	8.4%	3.5%
営業利益	734	1,200	396	△46.0%	△67.0%
経常利益	834	1,250	474	△43.1%	△62.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	494	750	230	△53.4%	△69.3%

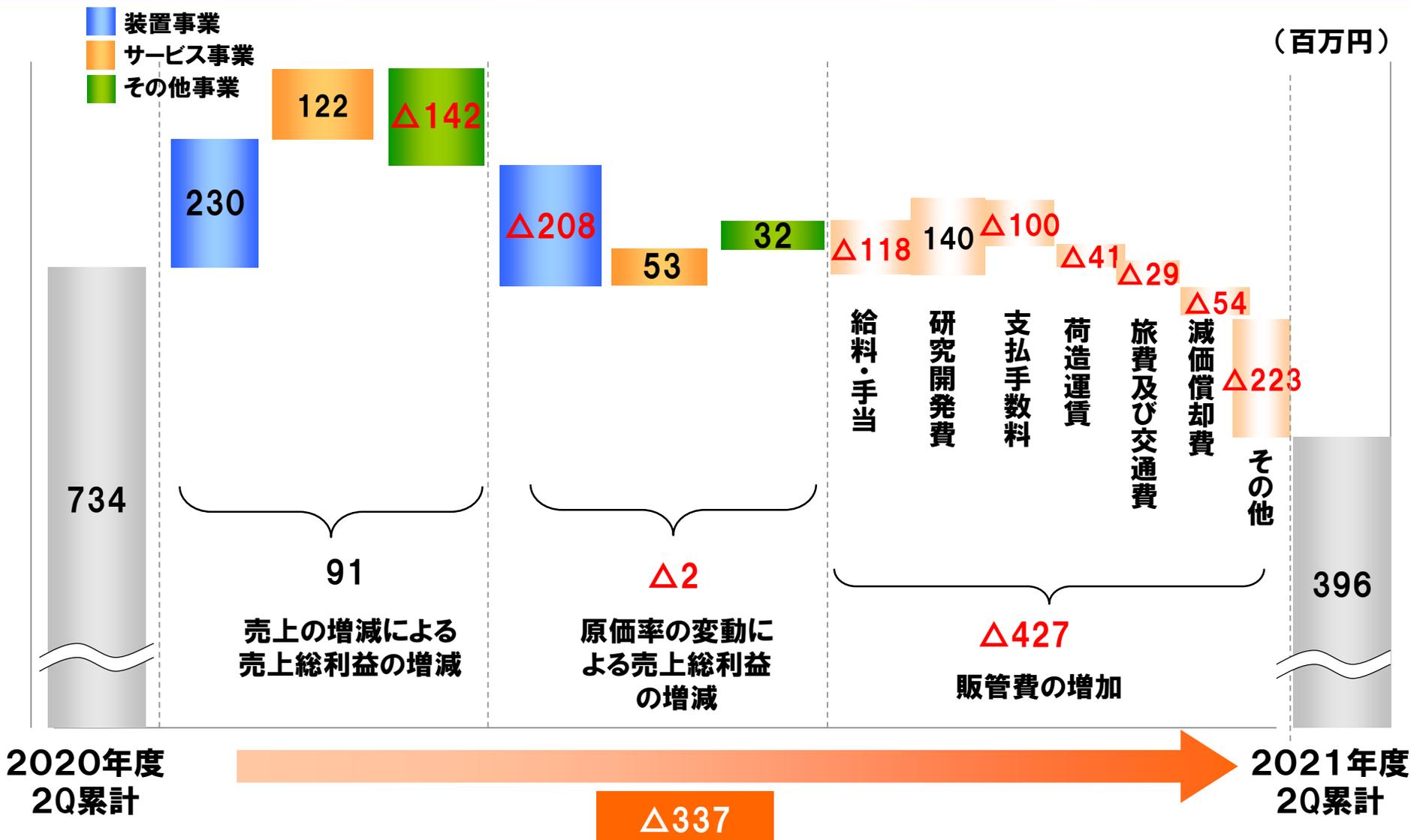
2021年7月よりエスペクサーマルテックシステム株式会社を連結の範囲に含めています。

# セグメント別の損益の状況

(百万円)

セグメント		2020年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計予想 (5月公表)	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
装置事業	受注高	13,699	16,500	22,763	66.2%	38.0%
	売上高	13,745	15,150	14,421	4.9%	△4.8%
	営業利益	658	1,100	322	△50.9%	△70.7%
サービス事業	受注高	2,879	3,100	3,334	15.8%	7.5%
	売上高	2,592	2,950	2,948	13.7%	△0.1%
	営業利益	58	150	171	195.1%	14.0%
その他事業	受注高	502	550	610	21.4%	10.9%
	売上高	1,073	550	316	△70.5%	△42.5%
	営業利益	16	△50	△99	—	—
連結消去	受注高	△124	△150	△138	—	—
	売上高	△116	△150	△119	—	—
	営業利益	1	0	1	—	—
計	受注高	16,957	20,000	26,569	56.7%	32.8%
	売上高	17,294	18,500	17,568	1.6%	△5.0%
	営業利益	734	1,200	396	△46.0%	△67.0%

# 営業利益の増減要因分析



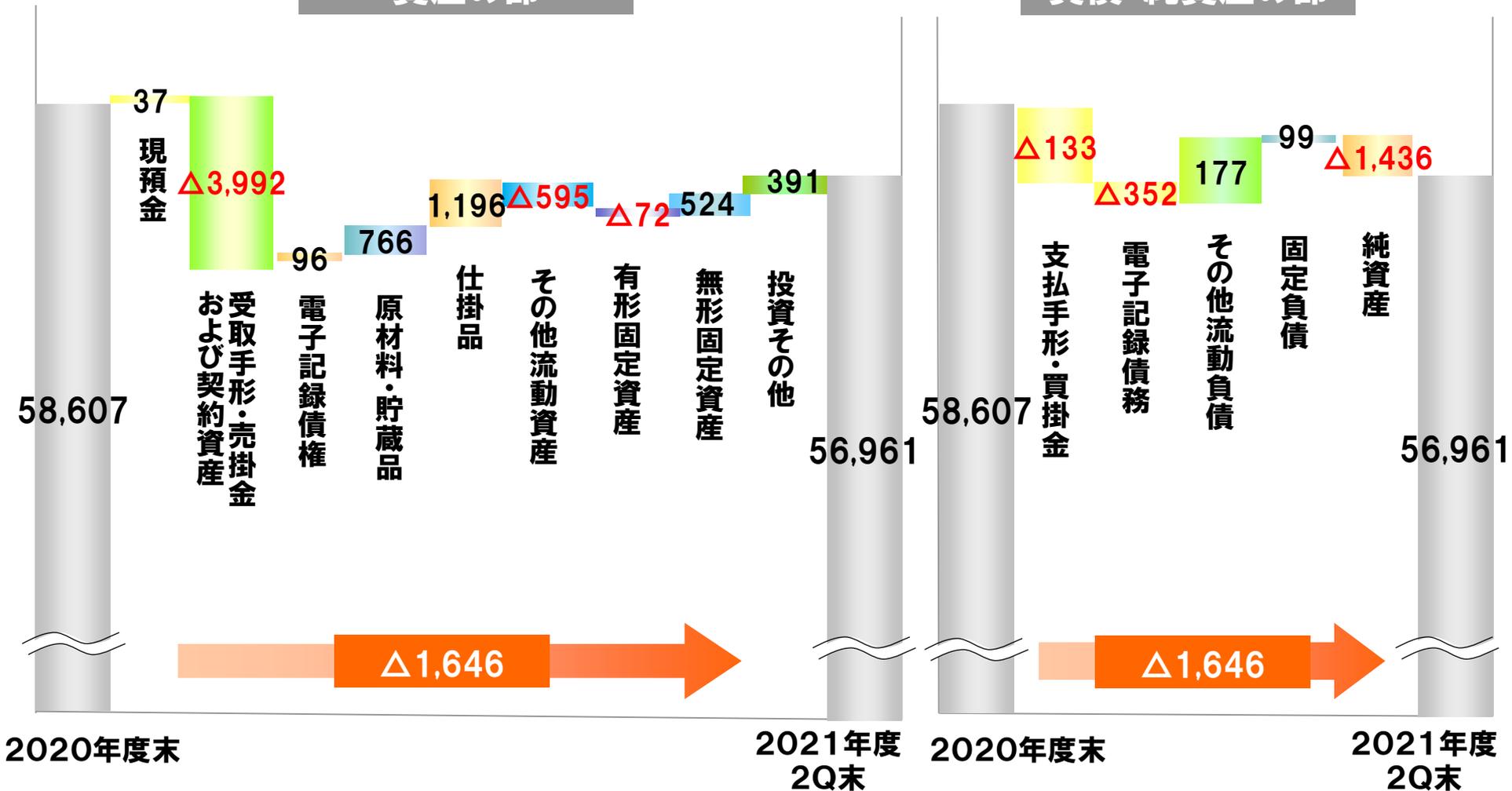
※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

# 資産・負債の状況

(百万円)

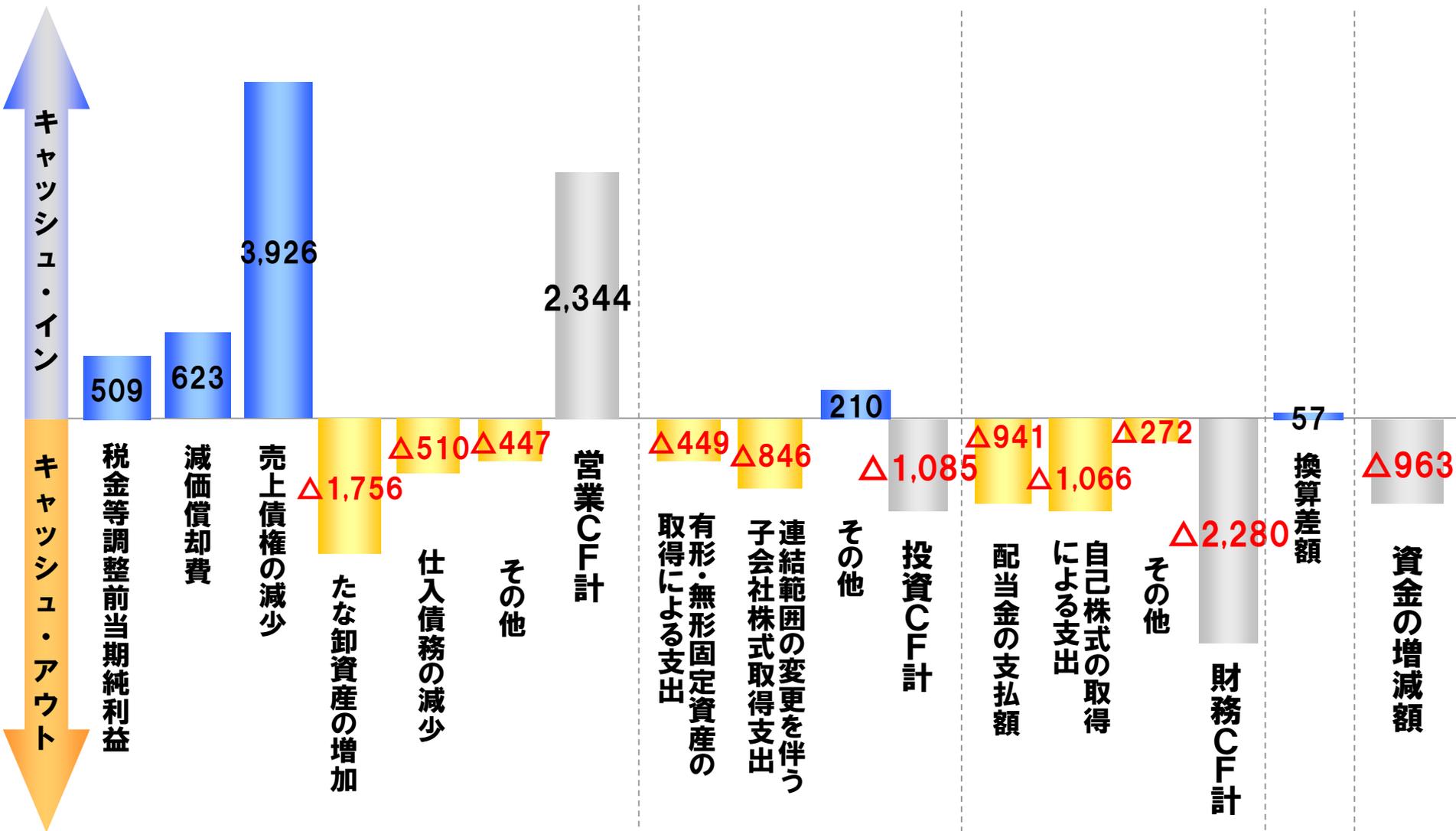
## 資産の部

## 負債・純資産の部



# キャッシュフローの状況

(百万円)



# 装置事業セグメント

(百万円)

	2020年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計予想 (5月公表)	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	13,699	16,500	22,763	66.2%	38.0%
売上高	13,745	15,150	14,421	4.9%	△4.8%
営業利益 [利益率(%)]	658 [4.8%]	1,100 [7.3%]	322 [2.2%]	△50.9%	△70.7%

## 環境試験器

- 国内では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに受注高は前年同期比で増加、売上高は減少
- 海外では、中国、北米、欧州、韓国の売上高は前年同期比で増加したが、東南アジア、台湾は減少

## エナジーデバイス装置

- 自動車関連の投資の回復により二次電池評価装置の受注を獲得し、受注高・売上高ともに前年同期比で増加

## 半導体関連装置

- メモリ、自動車関連の投資が継続し、前年同期比で受注高は増加したが、売上高は減少

# サービス事業セグメント

(百万円)

	2020年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計予想 (5月公表)	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	2,879	3,100	3,334	15.8%	7.5%
売上高	2,592	2,950	2,948	13.7%	△0.1%
営業利益 [利益率(%)]	58 [2.2%]	150 [5.1%]	171 [5.8%]	195.1%	14.0%

## アフターサービス・エンジニアリング

■ 保守契約など予防保全サービスが堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

## 受託試験・レンタル

■ 受託試験は国内が回復するとともに中国も堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加

# その他事業セグメント

(百万円)

	2020年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計予想 (5月公表)	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	予想比
受注高	502	550	610	21.4%	10.9%
売上高	1,073	550	316	△70.5%	△42.5%
営業利益 [利益率(%)]	16 [1.5%]	△50 [△9.1%]	△99 [△31.5%]	—	—

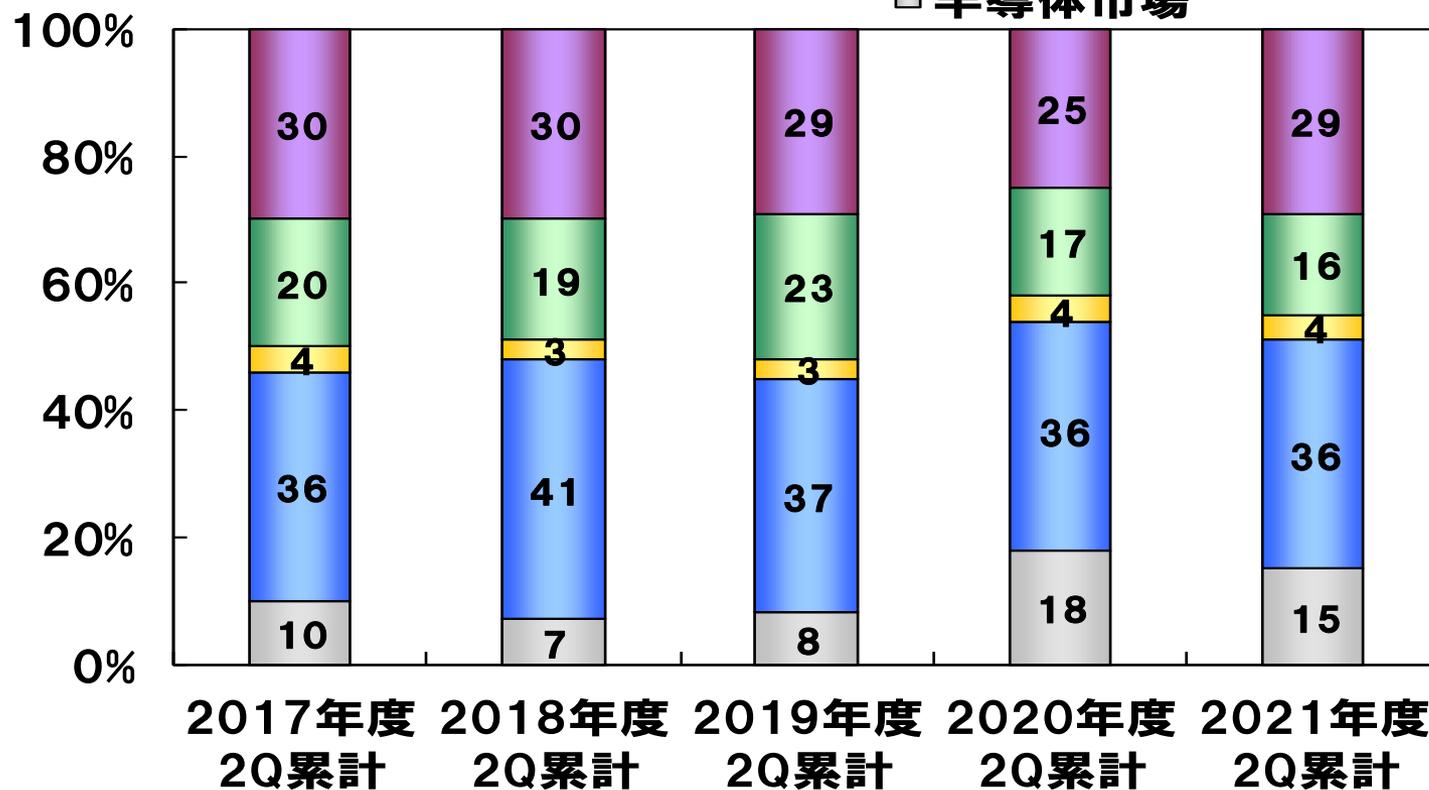
## 環境保全・植物育成装置

■ 堅調な森づくりや水辺づくりに加え植物工場の受注も獲得し、受注高は前年同期比で増加  
売上高は前年同期に植物工場の大型案件があったため減少

# 市場別売上構成比

単体(装置事業)

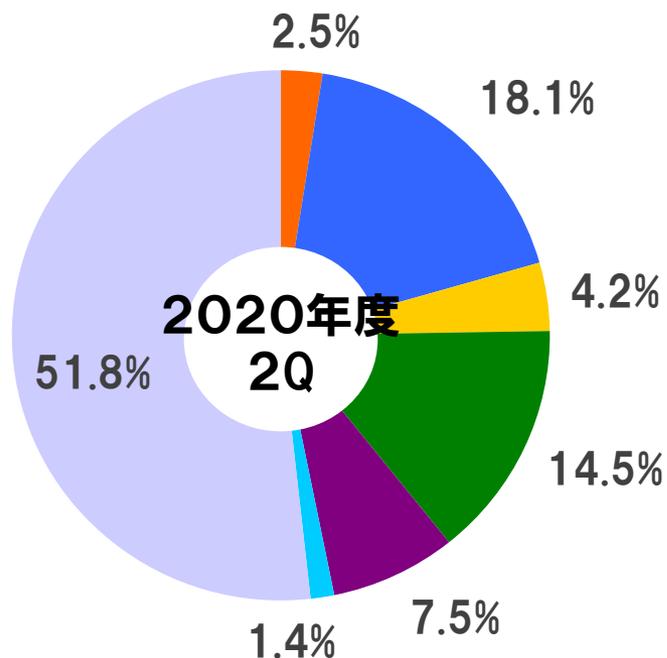
- その他市場
- 自動車市場
- フラットパネルディスプレイ市場
- 電子部品・電子機器市場
- 半導体市場



# 地域別売上構成比

2020年度2Q累計

海外売上高比率:48.2%



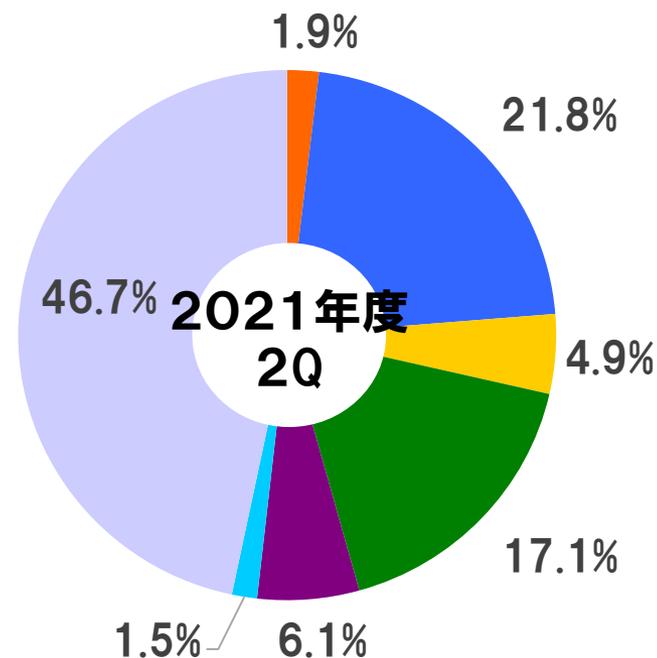
計 17,294百万円

(海外売上高:8,343百万円)

2021年度2Q累計

海外売上高比率:53.3%

- 台湾
- 中国
- 韓国
- 欧米
- 東南アジア
- その他
- 日本



計 17,568百万円

(海外売上高:9,365百万円)

# 2021年度 業績予想

	2020年度	2021年度 (百万円)			
	通期実績	上期実績	業績予想(受注高のみ修正)		
			下期	通期	前期比
受注高	37,580	26,569	24,231	50,800	35.2%
売上高	38,668	17,568	24,632	42,200	9.1%
売上総利益 [利益率(%)]	13,412 [34.7%]	5,881 [33.5%]	8,639 [35.1%]	14,520 [34.4%]	8.3%
販管費 [販管费率(%)]	10,839 [28.0%]	5,485 [31.2%]	5,735 [23.3%]	11,220 [26.6%]	3.5%
営業利益 [利益率(%)]	2,572 [6.7%]	396 [2.3%]	2,904 [11.8%]	3,300 [7.8%]	28.3%
経常利益 [利益率(%)]	2,840 [7.3%]	474 [2.7%]	2,926 [11.9%]	3,400 [8.1%]	19.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益 [利益率(%)]	1,961 [5.1%]	230 [1.3%]	2,170 [8.8%]	2,400 [5.7%]	22.4%
設備投資額	1,179	474	576	1,050	△10.9%
減価償却費	1,041	612	468	1,080	3.7%
研究開発費	1,302	471	419	890	△31.6%
1株当たり当期純利益(円)	85.79	10.23	96.66	106.89	24.6%

# 環境認識

- ・好調な経済環境は継続、先端技術分野(5G・IoT、電動化・自動運転)を中心にグローバルに拡大を目指す
- ・中国経済の減速、部品調達難の長期化、新型コロナウイルス感染再拡大による影響を懸念

装置事業	環境試験器	<p>日本 :5G・IoT市場は引き続き好調 自動車も電動化・自動運转向けは回復基調</p> <p>中国 :5G・IoT市場、自動車の電動化市場ともに好調</p> <p>ASEAN :半導体を中心に緩やかな回復を見込む</p> <p>北米 :自動車、半導体、5G・IoT関連の投資拡大を見込む</p> <p>欧州 :自動車を中心に投資拡大を見込む</p>
	エネルギーデバイス装置	<p>二次電池向けはさらに厳しい競争環境を予想</p> <p>燃料電池向けは来年度に向けて引き合いを見込む</p>
	半導体関連装置	5G・IoT市場を中心に投資は堅調
サービス事業	<p>アフター・エンジ 受託試験・レンタル</p>	<p>アフター・エンジ :前期と同水準となると予想</p> <p>受託試験 :5G・IoT、バッテリーを中心に日本・中国で回復基調が継続</p>
その他事業	<p>環境保全 植物育成装置</p>	環境保全事業および植物工場ともに緩やかな回復を見込む

# 2021年度下期以降の主な取り組み

## 装置事業

- ・5G・IoT市場をターゲットとしたグローバルマーケティングの展開
- ・カスタム対応の強化や環境因子技術の拡充

## エリア戦略

日本:5G・IoT、自動車市場への販売拡大

中国:5G・IoT、半導体、NEV(新エネ車)市場への販売拡大

北米:5G・IoT、半導体、自動車市場への販売拡大

欧州:自動車・バッテリー市場への販売拡大

## サービス事業

アフターサービス:ITを活用した新サービスメニューの投入

受託試験:自動車、バッテリー、5G・IoT市場への販売拡大、全天候型試験ラボの活用

# セグメント別の業績予想

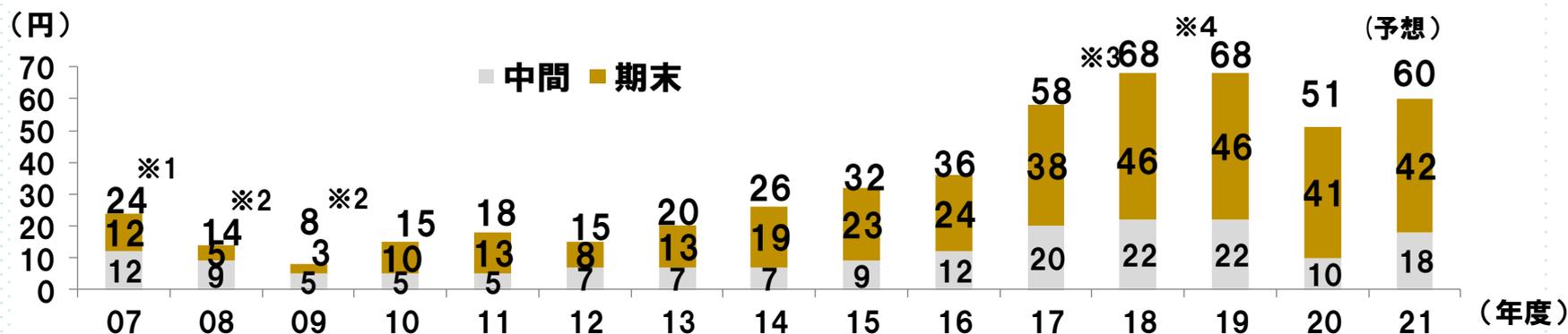
		2020年度	2021年度 (百万円)			
		通期実績	上期実績	業績予想(受注高のみ修正)		
				下期	通期	前期比
装置事業	受注高	30,755	22,763	20,037	42,800	39.2%
	売上高	30,669	14,421	20,179	34,600	12.8%
	営業利益	2,062	322	2,498	2,820	36.7%
サービス事業	受注高	6,153	3,334	3,166	6,500	5.6%
	売上高	6,063	2,948	3,352	6,300	3.9%
	営業利益	446	171	279	450	0.9%
その他事業	受注高	976	610	1,190	1,800	84.4%
	売上高	2,241	316	1,284	1,600	△28.6%
	営業利益	60	△99	129	30	△50.0%
連結消去	受注高	△304	△138	△162	△300	—
	売上高	△305	△119	△181	△300	—
	営業利益	3	1	△1	0	—
計	受注高	37,580	26,569	24,231	50,800	35.2%
	売上高	38,668	17,568	24,632	42,200	9.1%
	営業利益	2,572	396	2,904	3,300	28.3%

# 2021年度 配当予想

## 利益配分に関する基本方針

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題と認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本と考えております。配当につきましては、継続性と連結配当性向を勘案して決定しております。

## 一株当たり配当金と配当性向



### 配当性向

47% — — 21% 22% 29% 30% 29% 31% 37% 40% 36%※4 55% 59% 57%

※1.2007年度は創業60周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2008・2009年度は当期純損失ながら配当を実施

※3.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※4.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

# ESGの主な取り組み

## ■E(環境)

- ・当社グループ全体における電力使用量の約70%を再生可能エネルギーに切り替え  
受託試験サービス100%再生可能エネルギーに切り替え(2020年1月～2021年4月)
- ・CDP気候変動質問書に初めて自主回答しBスコア(2020年12月)
- ・第8次環境中期経営計画を策定中

## ■S(社会)

- ・ワクチン用保冷庫の発売と無償貸し出しの実施(2021年4月～6月)
- ・従業員参加型の寄付制度「エスペックスマイルクラブ」を設置(2020年12月)
- ・障がい者就労農園「エスペックスマイルファーム」を開設(2021年11月)

## ■G(ガバナンス)

- ・任意の指名報酬諮問委員会の構成員を増員(2021年3月)

(2021年6月)

## 「ソフトバンク次世代電池Lab.」 次世代電池の早期実用化を支援

- 2021年6月、当社バッテリー安全認証センター(宇都宮市)に開設
- 当社の二次電池充放電用恒温槽を設置
- 受託試験サービスとして試験計画や装置の点検管理、異常発生時の対応などをサポート



「ソフトバンク次世代電池Lab.」  
エスペック バッテリー安全認証センター内



バッテリー安全認証センター見学  
ソフトバンク主催「ソフトバンク次世代電池Lab.」  
現地見学会にて(2021年11月)

# 社外からの評価

2021年11月

- ・日本経済新聞社「第5回スマートワーク経営調査」で3つ星に認定
- ・日本経済新聞社「日経SDGs経営調査2021」で3.5星に評価



2021年10月

- ・日刊工業新聞社(経産省後援)「企業力ランキング」169位



2021年2月

- ・サステナビリティレポートが環境コミュニケーション大賞「優良賞」を受賞  
(環境省、地球・人間環境フォーラム主催)



2020年12月

- ・今年度初めてCDP気候変動質問書への自主回答を行い「Bスコア」に認定
- ・日興アイ・アール「2020年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」  
優秀サイトに選定
- ・モーニングスター株式会社「Gomez IRサイトランキング2020」  
銅賞を受賞(業種別28位)



2020年6月

- ・経産省「グローバルニッチトップ(GNT)企業100選」を連続受賞



**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。  
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、  
当社が計画・予測したものであります。  
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは  
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは  
ございません。**

**【お問い合わせ先】**

**エスペック株式会社**

**〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6**

**TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795**

**e-mail ir-div@espec.jp**

**コーポレートコミュニケーション部 部長 西谷  
IR担当 中川・大川**

---

Quality is more than a word

ESPEC